



## 今日のトピック

- ✓ 補正予算の一部を若者支援に！と主張
- ✓ 高校生インターンを受け入れ
- ✓ 池澤新市長に問う ✓ 法定ビラ問題を考える
- ✓ こども  
かわらばん 「こどもがどまんなかのまちづくり」

## 01

補正予算の一部を若者支援に！と主張  
～プレミアム応援券の大量発行は必要なのか～

新型コロナウイルスワクチン接種事業費や、池澤市長の公約である「プレミアム応援券第二弾の実施」などにかかる経費を盛り込んだ令和2年度一般会計補正予算（第12号）に対し、共産、立憲、生活者ネット、無所属有志の11名の議員が共同で修正案を作成。無所属の納田議員が提出者となり、私も賛成者となりました。昨年（2020年）の第1弾の15倍（75,000セット）という桁違いのプレミアム応援券事業を縮小し、**緊急性が高くこれまで市の支援が薄かった若者支援に予算を振り向ける内容**でしたが、修正案は**否決**という結果になりました。

しかし、この修正案により「若者支援」がクローズアップされた影響を受け、補正予算をそのまま成立させたい自民・公明は、**若者支援の検討を求める旨の「附帯決議」**を提出してきました。附帯決議には法的な拘束力はなく、内容も漠然と検討を求めるだけだったため、検討ではなく今すぐ実施すべきという立場から私は反対しましたが、**何もなかったらただ補正予算が成立するよりは前進できたのか**と思います。今後は、この附帯決議に沿った支援を考えているのか、確認をしていく必要があります。

## ■令和3年度は「暫定予算」でスタート

市長就任から間もないため6月までの暫定予算で新年度がスタート。裁量の余地のない義務的経費が中心。6月議会で池澤市長がどのような「本予算」を編成してくるか注目です。

## 02 高校生インターンを受け入れ

今回で3回目の受け入れ。初日は予算特別委員会を傍聴し、2・3日目は市役所や各施設を見学しました。児童虐待に関心があるという方がいたので、**子ども家庭支援センター**や**子ども相談室**へと。学校に行っていない子どもへのアプローチはどうしているのか、駅などにも案内を掲示したらいいのではないかなどの指摘もありました。**エコプラザ**では、環境に配慮した雨水利用、太陽光発電、無水式小便器などの施設を案内していただきました。丁寧に対応していただいた職員の皆さんに感謝します。**インターン生の質問でこちらが気づくことも多く**、受け入れる大きな理由になっています。



## 西東京市議会議員 田村ひろゆき

2018年12月初当選。無所属1期目。1978年7月西東京市向台町生まれ。上向台小、田無第一中、中央大学杉並高、中央大学法学部政治学科卒。元旅行会社社員、武蔵野大学職員、衆院議員秘書。議員インターンシップの運営を柱に若者の政治参加を進める活動に20年以上関わってきました。政治を少しでも身近に感じてもらえるよう、取り組んでまいります。

090-9686-4581

info@tamura-h.net

http://tamura-h.net

@tamura\_\_h(アンダーバー2つ)

@tamurahiroyuki.nishitokyo

@tamurahiroyuki.nishitokyo



いいね！西東京



西東京市(にしとうきょうし)のあたらしい市長に池澤隆史(いけざわたかし)さんがえられました。池澤さんは「こどもにやさしいまち」もっといえば「こどもがどまんなかのまちづくり」をすすめるといいました。いま、たくさんの学校(がっこう)がふるくなっていて、たてかえたり、ほかの施設(しせつ)といっしょにして、地域(ちいぎ)のみんなでこどもをささえていこうという計画(けいかく)があります。こどもにも意見(いけん)をききたいということなので、どんな学校(がっこう)にしていきたいか、いっしょにかんがえていきましょう。

おとなのかたへ：市内公共施設の約6割を占める学校施設の多くが、今後一斉に更新時期を迎えます。池澤市長は、「今までのような施設の建て替えではなく、学校が地域の核となるような機能を持たせる」「学校を拠点とした地域づくりの核となる応援制度のような仕組みを作りたい」と所信表明で述べています。

### 03 池澤新市長の政治姿勢を問う！

池澤隆史新市長に対する初めての一般質問を行いました。

**問** 市民との対話について。自分を支援してくれる人だけでなく、厳しい意見を持つ市民ともしっかり対話する覚悟があるか。

**答** それぞれの地域を肌で感じながら、多くの地域の方々とお会いし、顔つなぎができる関係構築に努めてまいります。

**意見** 時間ある限り市民と積極的に意見交流せよ。



**問** エssenシャルワーカー支援としてお食事券とお買物券を無料配布するとのことだが、なぜこの手法なのか。事業所への補助やPCR検査等を拡充する手法もある。当事者のニーズの聞き取りは行ったのか。

**答** 要望は伺っていない。チケットが使われることで市内経済の回復に寄与すると考えている。

**意見** 当事者が求めているかわからない。本当に支援になっているか。またエssenシャルでない業種が大変だったりもする。困窮する学生や生理用品が買えない女性のニュースもある。しっかりと目配りをしてほしい。



### 04 市長選挙、平井竜一氏は惜しくも落選 ～差別と分断を生んだ「法定ビラ」問題を考える～

2月7日に行われた西東京市長選挙では、私をはじめ、立憲民主党、西東京・生活者ネットワーク、日本共産党、無所属有志が推薦する平井竜一候補が、自民党、公明党が推薦する池沢たかし候補に1514票(得票率では2%)の差で競り負け、惜しくも落選となりました。大変お世話になり、ありがとうございました。

本当に残念だったのは、池沢氏を支援する確認団体が、表面一面に「返子での失敗のリベンジは返子でやってください。ここは西東京市です」、裏面に「西東京市のまちづくりは、西東京市民の手で！共産・左翼に市政を渡すな!!」と書いたビラを投票日直前に市内に撒いたことです。このビラにより差別と分断を生んだと3月議会の中でも多くの議員から質問がありました。

このビラを具体的に誰が作成したのかは明らかになっていませんが、原案レベルのものを見せられた池沢氏が、「選挙期間中の慌ただしい中だった」ために十分チェックできなかったことが明らかになり、これについては「反省している」と答弁しています。

少なくとも、このような遺恨の残るやり方が、今後西東京市でくり返されないことを願います。



今回のやり方は許せない！  
という皆さんの思いをネット署名という形で集めています。ご協力ください。

### 「議会トーク」今回もリアル&オンラインで開催します！

日程① 4月25日(日) 10時30分～11時30分 @コール田無4階 会議室A ※受付10分前～  
日程② 4月28日(水) 19時30分～20時30分 @ZOOM(オンライン開催)

①に参加の方は、事前の検温と体調確認、マスクの着用にご協力をお願いいたします。②は事前申込制とさせていただきます、申し込みをした方に当日の参加URLをお知らせします。田村ひろゆきのHP、メール等で当日18時までにお申込みください。

#### 編集後記

早いもので議員生活も折り返しの2年を過ぎました。西東京市議会では2年ごとに所属委員会が変わります。任期後半は企画総務委員会、広報委員会の所属です。引き続き皆さんの声をお聞かせください。